

取組み内容

- ①男女ともに従業員の配属は適材適所を重視し、女性の管理職の割合が30%以上かつ、2人以上を達成。
管理職：男性9人・女性6人、女性管理職割合40%
- ②部署や立場ごとにさまざまな研修が用意され、管理職への道が開かれている。

”聞いて語る”研修は従業員が成長するためのきっかけ

「男女が完全に平等なので、力があれば性別に関係なく管理職の道は開けます。」と笑顔で語るのは、ゼネラルマネージャーの内田幸子さん。

同社はもともと女性の多い会社で、男女平等は社風ともいえます。それを表すように、内田さん自身が取締役でロールモデルとなっています。そんな社風のためか、全従業員の力を引き出すよう、立場や部署に合わせてさまざまな研修が用意されています。

研修の中で最も重視しているのが、外部から講師を招いて行われるSMI研修。単に講師の講義を受けるだけでなく、講義の中で自分なりの考えをその場にいる人たちにプレゼンテーションするもので、しっかりした意志や目標を育てていきます。

内田さんは「研修は社員たちに明確な夢や目標を持ってもらうのが目的です。いわば、“聞いて語る研修”とでもいうのでしょうか」といいます。研修を受ける機会は平等に与えられ、研修を受けた者の中には、パート従業員から正社員、そしてさらには役員に登用という例もあるとのこと。

また、急な病気など育児中の従業員には、休暇や早退も取りやすい環境があるなど、会社として細やかな気づかいを行っています。方針としては、「仕事はきちんとしてもらう。でも、きちんとした仕事をするには、家庭の用事も疎かにできない」。温かくもあり、厳しくもある職場環境といえるでしょう。

同社は男女が平等な会社です。そこで最も重視されるのが、人材を有効に使うための“適材適所”。いい換えれば、適材に男女は関係ないとする同社は、女性にとって単に、理想の職場というだけでなく、誰もが能力を発揮しやすい、これからの企業のあり方を示していました。



ベストアメニティ株式会社
取締役 ゼネラルマネージャー 内田幸子さん。



主任以上の女性従業員が集合。全員、元気の良さとしっかりした考え方が自慢です。